

オバエボシガイ

Inversidens brandti (Kobelt)

イシガイ目イシガイ科

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

石川県内では現状不明であるが、国内分布を考えると生息数は少ないと考えられるため。

形態

殻は短卵形で後背縁はやや張り出し、後端がやや尖る。殻長は30mm~40mm程度と小型。

国内分布

愛知県以西に分布。北陸地方では富山県から記録あるが、富山県では絶滅したとみられる。

県内分布

七尾市から情報があるが現状不明。

生存の危機

詳細は不明であるが、他のイシガイ科の種と同様の要因と考えられる。(A, C)

特記事項

石川県の生息地は東限(北限)にあたる。早期に現状の把握が望まれる。

参考文献

- 川端義信 2004. 能登半島産の軟体動物目録. 七尾市少年科学館研究報告. (8) : 43-82.
近藤高貴 2005. オバエボシガイ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 6 陸・淡水産貝類 : 303.
近藤高貴 2008. 日本産イシガイ目貝類図譜. 日本貝類学会特別出版物第3号. 69pp. 日本貝類学会.
増田修・内山りゅう 2004. 日本産淡水貝類図鑑②汽水域を含む全国の淡水貝類. 240pp. ピーシーズ. 東京.
富山県 2002. 富山県の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブックとやま—.

写真(図)はありません。

分布図はありません。

県内の分布